

第12回長寿医療研究センター国際シンポジウム

テーマ: 「フレイルと認知症」～メカニズムから予防・治療へ～

9:30 開会のご挨拶 国立長寿医療研究センター 鳥羽理事長

9:35-11:50 セッション1. フレイル、サルコペニアの病態解明

座長: 柳澤 勝彦先生、丸山 光生先生

1. 21世紀のフレイル研究の展望 (15分)

国立長寿医療研究センター 副院長 荒井 秀典先生

2. 加齢により身体的フレイルとその複雑な多系統的生物学的病態 (35分)

Dr. Jeremy D. Walston

Co-Director, Biology of Healthy Aging Program, Division of Geriatric Medicine and Gerontology, Professor of Medicine, Johns Hopkins University

3. サルコペニアにおける筋萎縮の分子機構 (25分)

国立精神・神経医療研究センター 神経研究所 所長 武田 伸一先生

4. 骨格筋老化の生物学と薬剤開発への応用 (35分)

Dr. Ki-Sun Kwon

Korea Research Institute of Bioscience and Biotechnology

5. サルコペニア、老化予防のための骨格筋における Akt の役割 (25分)

国立国際医療研究センター 研究所 糖尿病研究センター長 植木 浩二郎先生

12:00-12:50 ランチョンセミナー

座長: 鷺見 幸彦先生

フレイル、サルコペニア、認知機能低下予防のためのランダム化比較試験

名古屋大学大学院医学系研究科 地域在宅医療学・老年科学教室 教授

葛谷 雅文先生

13:00-14:50 セッション 2. フレイルと認知機能低下に対する疫学的アプローチ

座長: 荒井 秀典先生、佐竹 昭介先生

1. フレイルに対する単面的及び多面的なアプローチの長所短所 (35分)

Dr. Matteo Cesari

Centre Hospitalier Universitaire de Toulouse

2. プレフレイル、フレイル高齢者に対する多面的な介入に関する短期的、長期的な介入の身体機能に対する効果:コホートにおけるランダム化クロスオーバー試験 (25分)

東京都健康長寿医療センター 副所長 新開 省二先生

3. フレイルと認知機能研究のための韓国フレイル老化コホート研究のインパクトと課題 (30分)

Dr. Chang - Won Won

Department of Family Medicine, Kyung Hee University, Professor

4. 高齢者における認知的フレイルと認知症の発症 (20分)

国立長寿医療研究センター

老年学・社会科学研究センター予防老年学研究部 部長 島田 裕之先生

15:00-16:45 セッション 3 フレイル、認知症研究の臨床的展開

座長: 原田 敦先生、櫻井 孝先生

1. フレイル、サルコペニア研究のためのフレイル外来の開設 (20分)

国立長寿医療研究センター 松井 康素先生

2. 糖尿病患者におけるフレイル、認知機能障害、白質ネットワークの障害 (25分)

東京都健康長寿医療センター

荒木 厚先生

3. フレイル、認知症に対するロボット及びリハビリテーション (20分)

国立長寿医療研究センター 近藤 和泉先生

4. 加齢に伴う海馬の変化に与える要因とは? NILS-LSA における MRI 解析 (20分)

国立長寿医療研究センター 加藤 隆司先生

5. 日本人高齢者におけるフレイル、認知機能障害に関する縦断的研究 (20分)

名古屋学芸大学 大学院 栄養科学研究科 教授 下方 浩史先生

16:45-16:50 閉会のご挨拶 国立長寿医療研究センター
副院長 荒井 秀典先生